

# 今を未来に

## 1. 2021（令和3）年度保々小学校学校づくりビジョンについて

昨年度、保護者の皆様にご協力いただいた学校評価の結果や、昨年度末に全教職員でおこなった学校総括の結果から、教育目標を『自分を見つめ、今を未来につなげられる子』として、学校経営を行っていくことになりました。

学校づくりの5つの重点目標の中で、『学習・生活の支援体制づくり』の項目では、ICTを積極的に活用した、情報活用能力の育成を新たに盛り込みました。昨年度、全国の小中学校の全児童・生徒に一人一台のタブレットが与えられました。そこで、一人一台のタブレットを有効に活用して、教科や特別活動など全領域で活用できるように取り組みを進めています。特に日常的に活用することで、児童も教職員もタブレットに慣れ、タブレットを活用するにあたっての抵抗感をなくすことができます。そして、タブレットを活用できる場面で積極的に活用して、児童の基礎学力の向上や、情報活用能力の育成に努めたいと考えています。

また、高学年（5年生と6年生）においては、理科と社会科に教科担任制を導入し、A組B組とも同じ先生が教える中学校のような授業を実施します。このような取り組みを通して、小学校と中学校の段差をなくし、いつもと違う新鮮な環境で授業にのぞめる利点も生まれるとともに、教職員の専門性を発揮しやすい環境もつくられます。

『安全・安心な学校づくり』の項目では、感染症対策を考慮した学校経営を進めることを盛り込みました。変異株の拡大もあり、今後の見通しが見えない新型コロナウイルス感染症に対して、少しでも安全・安心な学校づくりができるように、学校・保護者・教育委員会・関係機関（校医や保健所）と連携をしながら学校運営を進めてまいります。

さらに本校では、『今を未来につなげられる子どもをめざして』と題して、保々地区18年間（社会へ）の育ちのプログラムを作成しています。これは、保々こども園、保々小学校、保々中学校、高等学校（朝明高校、いなべ総合学園高校、桑名西高校、菰野高校、北星高校）、それに保々地区教育・就労に係る連携会議が、18年間の学校での学びや活動を通して、自主自立を促す目安となる力を発達段階に応じて示したものです。これを使って、各校園がビジョンをつくり、同じ方向（ベクトル）で日常の学校運営をおこなっています。このような取り組みを、こども園から高等学校までが『18歳の子どもの像』を共有しながら進めているところは全国的にも珍しく、多くの学校のモデルになっています。

地域や、学校の諸先輩方が作り上げ、子どもの成長において多くの成果を上げてきたこの取り組みを大切にしながら各校園、連携会議が今後も連携を深めながら、保々の教育をさらに充実させていきたいと思っています。

### 1. スクールカウンセラーによる教育相談

この時期は、わくわくした気持ちや、少し不安な気持ちなどいろいろな気持ちがでてくる季節です。お子さんのことや、家庭での子育てで悩んでいることがありましたら、一度スクールカウンセラーを活用してみてもいかがでしょうか。お子さんの相談だけでなく保護者の皆様の相談も受け付けています。本年度もスクールカウンセラーは、竹中薫（たけなかかおり）さんが来校します。相談日程は予約制となっていますので、担任や教頭（柴田浩司）まで電話にて希望の日時をご連絡下さい。調整後に正式な相談日程をお知らせします。

【開室時間】10時～16時（毎週金曜日） 【場所】相談室（※保健室の隣にあります。）